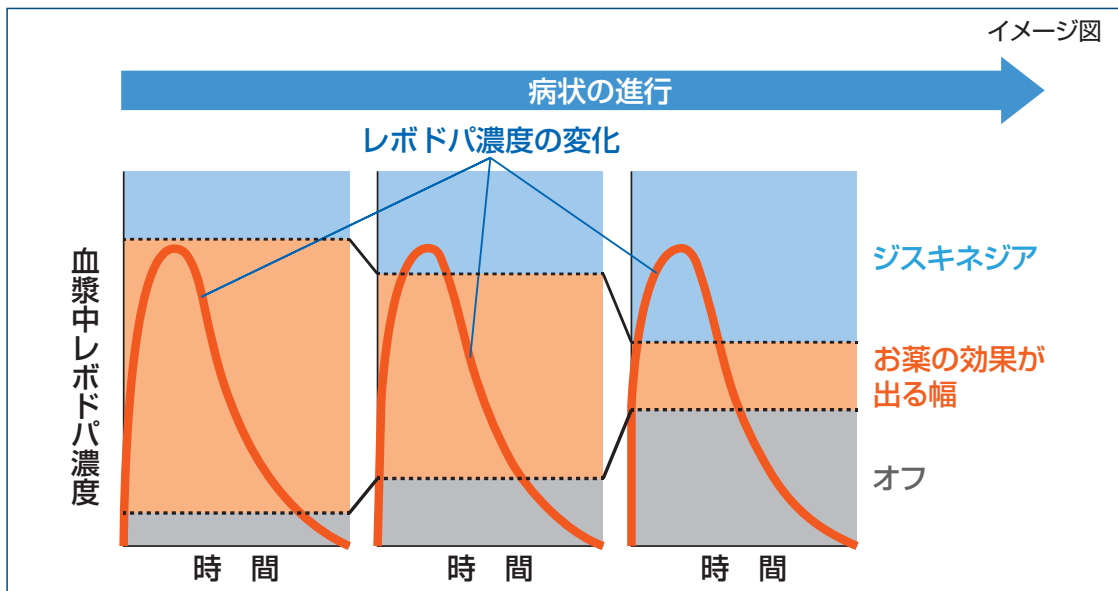


なぜ、運動合併症があらわれるの？

病気が進むにつれて、レボドパが効果をあらわすことのできる血中濃度の幅（有効治療域）が狭くなっていくためだといわれています。そのため、断続的に服薬する飲み薬では、血中濃度を有効治療域に安定して維持することが難しくなります。さらに、パーキンソン病の患者さんは、胃や腸の動きが悪くなり*、小腸からのお薬の吸収が不安定になるため、飲み薬では血中濃度を安定させることが難しくなり、ウェアリングオフやジスキネジアなどの運動合併症がみられるようになります。

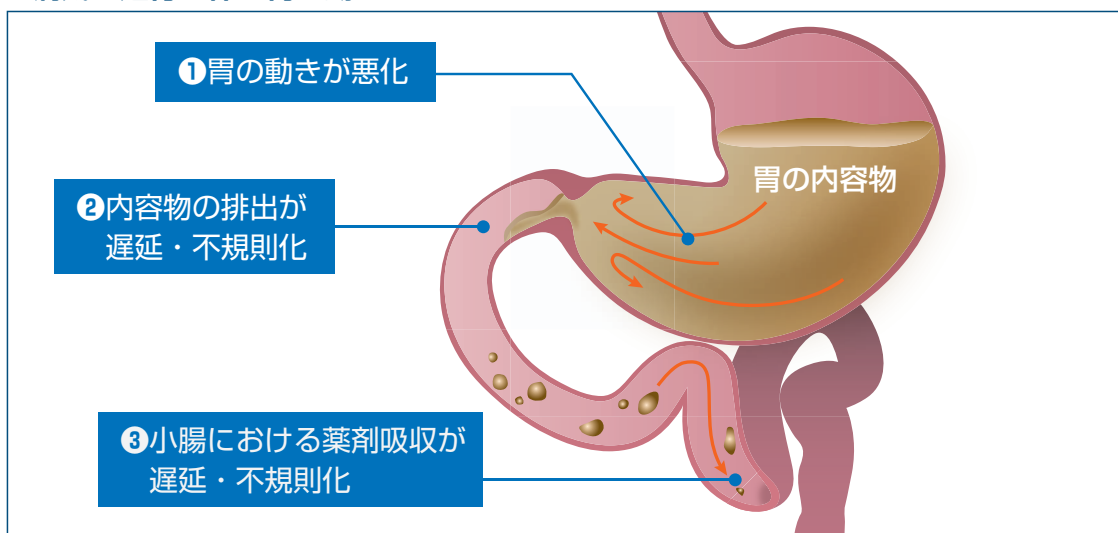
* Varanese S et al.: Parkinsons Dis, 2010: 480260(2011)

● 飲み薬でレボドパを補充して長く経つとウェアリングオフやジスキネジアが出てくる理由



Olanow CW, et al.: Nat Clin Pract Neurol, 2, 7: 382-392(2006)より作成

● 病気の進行に伴う胃の動き



Varanese S et al.: Parkinsons Dis, 2010: 480260(2011)より作成